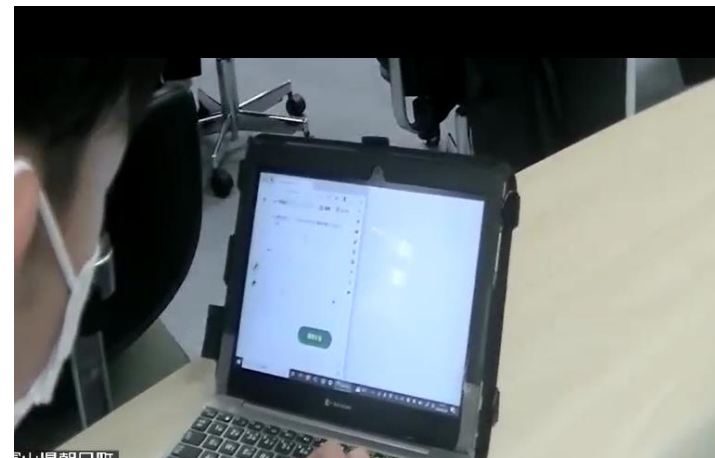


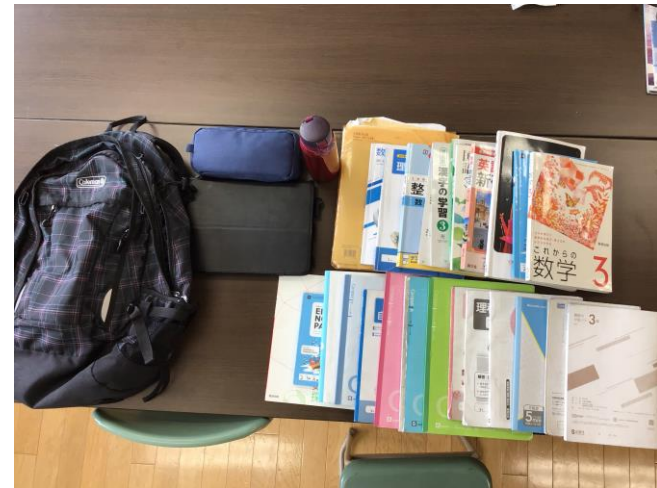
## 【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」

- ・ タブレット端末を使用した問題配信と、参考資料の配信。必要に応じて参考資料を活用し、各自のペースで解答を作成。
- ・ 明快に説明をしているグループや個人を選び、全体の前で説明をもらい、生徒の学習の理解につなげる。
- ・ スライドや動画、AIドリル等のICTを適切に選択できるようにすることで、主体的に学習に取り組む態度を育成する。



## 【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」

- ・ 毎日タブレット端末を持ち帰ることで、家庭学習においても日常的にタブレット端末を活用。
- ・ 毎日持ち帰っていることから、インフルエンザ等の流行や大雪等による学級閉鎖・臨時休校時においても速やかにオンライン授業を実施することができる。
- ・ 家庭学習において、デジタル教科書を活用することにより、紙の教科書を学校に置いてくることを可とした（所謂置き勉）「らくらく登校」を実施。



## 【取組内容④】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」

- ・生徒からのオンラインによる欠席連絡により即時に情報の共有化が可能。また、オンラインによる悩み相談にも活用されている。
- ・学校間等におけるオンライン会議を実施しており、集まる必要がないことから気軽に会議を開催できるようになった。
- ・クラウドを活用したデータ共有により、学校間でのデータ共有・共同編集が可能となった。
- ・8月17日に東京学芸大学 高橋 純 教授、富山大学 山西 潤一 名誉教授、富山大学 黒田 卓 教授、林 誠一 教授を講師に招き、町内外の教職員を対象にDXスクールゼミと称したクラウド活用の研修会を開催。

